
ネメシスとして幻想入り

xhanku

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネメシスとして幻想入り

〔ZΠ-γ〕

N 5420Z

【作者名】

x
h
a
n
k
u

【めりすじ】

目が覚めれば知らない森の中・・・

え? ビーーーー? 何この体、触手とか気持ち悪い! え? これが自分

?

不定期更新です。あと、作り直しましたー＾＾；

ふわふわーぐ（前書き）

作り直しましたー^_^;

この回だけちょっと変ですが、次からは直します。

田が覚めれば森の中

待て、色々おかしい、そして何故か同様していないで

そういえば、こいつ『田が覚めたら知らないどこか』ってのは定番だよな・・・うん

ハハハ・・・きっとこれは夢の中だ！ そうに決まつてこりゃな
きや背にこんな大木があるはずは無い！

・・・半径5mってところか？ 太すぎね？

えーい！ 考えに深すぎでは進まない！ 道は進むために前にあるの
だ！（誰かの言葉）

さあー立ち上がり！ 僕ええええええー！ー！ー！ー！

「ガチッ！」

ん？ 金属音？

なんで立ち上がりつたときに金属音？

足元には草とか土とかしか無いは・・・ず・・・

うん、無いよね？ 足元に危険な鉄の砲筒とか沢山の筒が着いた回転する鉄砲なんて、存在しないよね？！

あれか？ もしかしてあれなのか？！ 『転生しましたー、^{チート}升選ばせると面倒なので、テキトーにやつちやいました』 つてやつなのか？！

・・・とつあえず、拾つておひや。

「ステインガー＝ミサイルを拾つた。」

・・・どうじょう、頭が付いていかない・・・ Help Me E
E E E R H N N N N ! ! !

あ、ついノリで友達の真似しちゃった

じゃねえ！ そうじゅうじゅうねえ！ 有名なホラーゲーのバーオのアイテム捨てたときのテロップみたいなのが流れたけど？！

つてことは、探せばあの有名な回復アイテムもあるつてことか？

とつあえず、探してみよう

「ハーブを拾いますか？」

> はい いいえ

あつた・・・しかも今度は選択肢付きで・・・

とつあえず、『はい』を選ぶだろ。

「ハーブを拾いました。」

うおーなんだか面白くなつてきましたー。だから、これどうして使うんだ？

あ、なんか田つぶつたひ、ちつぱんのあの有名なバイ のメニューが開いた。

・・・言つたことは正確であるナビ、とつあえず頭の鎮静用に、ハーブを

え？何これ？ハーブって回復アイテムでしょ？あ！そつか！調合すればいいのか！なら他にも探さなきゃだな！

ハハハ！俺ってばてーんさーい！

じゃあ、もう一つの鉄砲を取つて「M202//I-ガンを拾いました」さっそく薬草探しだ！

・・・よし、とりあえず現実逃避はこのくらいでいいだろつ。

何？このロングコートと巨体は。

しかも堅くて屈強だし。

あと何気に腕に触手が入つてるんだけど。気持ち悪！

ん？この触手って、尖つてないか？

ロングコート+巨体=巨人

巨人+触手=この組み合わせはどう考へても『生物兵器』

B・O・W+ロケラン+ガトリング＝・・・追跡者？

絶対そうだ！そうに決まってる！じゃなきゃ！」んな物やこんな体をしているワケがない！

よし！それで確定！」の話はもつ終わり！じゃあ目的を戻してハープ探しだ！

では！出発！「わはーーおーしそうなのがいたのだーー」・・・誰？！

え？何もいなくね？じゃあ誰の声？

「！」なのだーー！」うーん、頭をひねつても答へは出ないなあー「無視するなーー！」だって、！」には俺と空飛ぶ幼女しかいないんだもん

「うー、食べてやるのだーー！」

「何を食べるの？」

「あーやっと返事してくれた！じゃあ早速、いただきまーすー！」

え？ちよーなんでこっち来て・・・痛ッ！腕を噛むんじゃない！痛いってばーイタター！

ぶろぐ（後書き）

相変わらずの駄文力アーサー

ご指摘、クレーム、感想、アドバイス、その他もうもう何かあります；；

毎月7日は「モーなのかー」（前書き）

サブタイはいつも適當です。

あと

「DANGER！」この小説は、駄文という物が含まれています。丁
ウイルス以上に危険です。」

毎月7日は「モーなのかー」

腕を噛まれて数秒後

「うえ～・・・不味いのだ～」

Side NEMESIS

目の前に頑垂れる少女を見ながら心中で『ザマアーヴvvv』と思つ

ている。

だが、流石に可哀想に思えたので、何か探してみる」とこした。

「ハンバーガーを拾いますか？」

› はい いいえ

現実から田をそらし、そのハンバーガーを拾い、頃垂れる少女に渡した。

「これなら食えるだろ、食べてみ・・・奪い取るなよ」

「おこしこのだーー」

「そうか、それならいいんだ」

ちょっとカツコツけて喋つてみる。

「そりいえば、鬼さんはなんて名前なのだー？」

「ん? 鬼?」

聞き捨てならないセリフ

「うん！ だつて、人間の顔じゃないもん！ ・・ ちょっと怖い顔だから鬼なのだー！」

少女の「」とをよーく見てみると、赤い瞳で、金髪にリボン、服装は黒が主体

全体的に西洋風の美幼女。

そんな美幼女に満面の笑みで「怖い顔」と言われる。

「ああ、組長さん・・・いや、園長先生・・・あなたの気持ちが分かつた気がする・・・」

どつかの幼稚園の組長の気持ちを理解してしまった。

「ねえねえ、名前はなんなのだー？」

「え？ あー」

迷う、激しく迷う・・・ できるだけカッコイイ名前で行きたいこところだが、流石にこの姿では無意味

「 は、本家を借りて、本当のことを言おう・・・

「俺は、ネメシちゅ・・・」

少女との間に、氣まずい沈黙が流れる。

(やべえ、噛んだ・・・ビリヒョウー。)

「・・・ネメシスさんなのかー、じゃあまたなのだー」

少女が氣まずい沈黙を破り、訂正してくれた。

そして、食べ物が無くなつたことが分かり、その場を去つていつた。

少女は、去り際に、頬を一やつかせていた。

「第一印象は大事なのに、それを思いつきりダメにしてしまつたなあー・・・」

なんとも言えない気持ちが、胸の奥でとぐろを巻いている。

そんな気持ちを忘れるため、またハーブ探しに戻った。

あの後、赤色と黄色のハーブが見つかった。

最初に手に入れた緑色のハーブと調合し、薬を作った後、その辺をテキトーに散策することにした。

毎月7日は「モーなのかー」（後書き）

・・・まづい、前作との「トジャヴ」な部分が・・・

やべえな・・・これなら削除する前の方がよかつたかも知れない

今になつて後悔

クレーム、レジ指摘、感想等々 お待ちしております。

ネメシスとは女神の名前だそつだ。（前書き）

サブタイはいつもどうづテキトー

あー そーそー、 “ www ” とかの表現が嫌いな人は、 ブラウザバッ
クをオススメします。

ネメシスとは女神の名前だやつだ。

S i d e N e m s i s

調合したハーブ（赤 + 黄 + 緑）をを捨てよつと想つたが、やはり今後のためにとつておくことにした。

「しつかしあれだなー・・・なんでネメシスになつてんだ？俺

「説明 WWWしよう WWW

「あ、じゃあお願ひし・・・ねえよーしかも”へそつてゐ”の意味違つてるしー」

「え？！ WWW

つこ咳いてしまつた一晩に反応したゾンビ（^）が、近くの茂みから出でてきた。

ボロボロの服、所々欠けている皮膚、つめき声、完全に生ける屍である。

それなのに、”腐つてゐ”が”草つてゐ”になつて、”生ける芝生”になつていた。

「というより、説明つてなんだよ・・・」「

「ん? wwwあー www簡単 wwwに www言つ wwwと www君
www転生 wwwした wwwの www」

サラッと衝撃発言（確定事実）を言い出したゾンビ（？）

「は? 転生? いや~・・・そういうのはみりや分か・・・つていた
んだが、まさか本当だつたとは」

衝撃発言に衝撃を（少し）受けたネメシス

「 wwwあとな www升 wwwは www入つて wwwないよ www」

「はははー・・・は?」

だんだん発音が人語に似てきたゾンビが、更に衝撃な発言をする。

「だから www升 wwwは www入れられて wwwない wwwの www
www俺 wwwも www転生 www者 wwwだから www分かる www
www」

「そつなのか」

「うん www その www 追跡者 www の www 能力 www が www ついてる www だけ www 」

・・・ネメシスは、その追跡者の能力を知らなかつたため、ゾンビ (?) に聞いてみた。

「お k www 追跡者の能力は

なるほど、説明になると草らないのね・・・

追跡者 (Nemesis)

B·O·W·「タイラント」の性能向上のため、新開発した寄生型B·O·W·「NE」、通称「ネメシス」を寄生させた新型。

基本性能はタイラントと変わらないが、ネメシスの寄生により知能が格段に上昇することで、「より複雑な任務を自己の判断で継続的に遂行」、「ロケットランチャー等の武器使用」などが可能となつた。

また、回復能力の向上作用により、タイラントが危機的状況に陥る事によつて起らる「暴走」を抑える役目も持つてゐる。

NEMESIS-T型は、3つの形態を見せる。

第1形態

追跡者の最初の姿。

人間を大きく上回る巨体を持つ。

全身に防弾・対爆仕様の黒いコートを纏つてゐるが、これは暴走を抑えるための拘束衣という面も持つてゐる。

コートから露出した部分には、所々にネメシスの触手が巡る怪物じみた外見が確認できる。

素早く走りまわり、突進しながら殴りかかる、首を絞めた後に投げ捨てるといった攻撃を仕掛けてくるが、たまに首を絞めたまま腕から触手を繰り出してくることがある。

その硬度は人間の頭部を貫通するほどで、これを受けると即死してしまつ。

また、追跡者の至近距離から遅い攻撃をすると、素早く横移動して回避する。

第2形態

激しい戦闘により拘束衣は破れ、繰り返し与えられる肉体のダメージによりネメシス自体が肥大化、半ば暴走状態になりかけている。

腕部を縦横に巡っている触手により武器の使用が不可能になり、より激しい攻撃性を示すようになる。

即死攻撃が無くなり、攻撃力も第1形態より若干落ちているが、体力は高まっている。

右腕から垂れ下がった触手により突いたり掴んで叩き付けたりといった攻撃をしてくるが、第1形態に比べ動作が大振りなので戦いやすい。

第3形態

度重なる戦闘と特殊な薬液により限界を超えるダメージを受けたタ

イラントの肉体とネメシスが、お互いに暴走状態になり肥大化。

頭部や手足を失った肉体を異常発達したネメシス本体が補完し、仰向けの状態で四足歩行を行う。

腹部からは巨大な肋骨が牙のように突き出し、薬液の毒素により巨大な水疱が浮き上がっている。

最早知性を感じさせない外観になりながらも、任務遂行のためジルに迫つてくる姿はまさに「復讐の女神」の名に相応しい。

触手による攻撃のほか、体液を飛ばして攻撃してくる。

この第3形態はアメリカ軍特殊部隊がラクーンシティに持ち込んだ、コードネーム「パラケルススの魔剣」というレールキャノンを使わないと倒せない。

「で、そのNEMESIS-H-1型つてのが俺なワケ?」

「「」もつともwww

「いや、そんなこと言われても……つか、N-E-……ってなんだよ……」

「それは

NE -

アンブレラのフランス研究所で開発されたミニマズのような姿の寄生型B・O・Wで、通称「ネメシス」。

知能に特化しており、それ自体では何もできない。

他のT生物の脊髄に移植されるとその体内のT・ウイルスを取り込み増殖、延髄付近に独自の脳を形成し、宿主の脳機能を乗っ取り知能を支配、同時に細胞賦活成分を分泌し再生力を高める。

しかし、寄生された生体に非常な負荷がかかるため、元から強靭なB・O・Wでなければ耐えることができずに死亡してしまいます。

「NE -」型のサンプルは、アークレイ山地の洋館の地下にある研究所にも届けられており、リサ・トレヴァーがその被検体となっているが、ネメシスは彼女の脳に寄生することなくその身体に取り込まれてしまっている。

「・・・聞きたいことは山々あるんだが・・・まず、『ればビ』の情報だ？」

「え？ wwwこれは wwwウイ k「ストップー・ストップー！」 www
ビうした？ www」

ゾンビが、いけない発言をしそうになつたので、それを防ぐネメシス
鬼のようなネメシスが、屍であるゾンビを止め・・・中々にシュー
ールな画が出来上がる。

「あ wwwそうそう wwwこの www世界 wwwは wwwほとんど
wwwが www能力 www持つてゐる wwwから www」

「え？ まじか？」

「うん www俺 wwwは www『生ける屍と芝生を増やす程度の能
力』だつてお www」

「あながち間違つてはいないな・・・」

（俺は・・・）

ネメシスは、自分の能力を探してみる。

『追跡する程度の能力』

『任務をこなす程度の能力』

「やつぱりか・・・しかも2つ・・・

「どうした? WWW」

「なあ、その辺は消せないのか？ イラッとするんだが・・・」

「無理だお WWW」

「だよなー・・・いや、ちつき上げられたよな？」

「あれは WWWあれ WWWだから WWW無理だお WWW」

我慢できなくなつたネメシスは、頼み事をしてみたが、変な理屈で拒まれた。

「どうあえず、そのへんを散策するんだが、一緒に来るか？」

「あの WWW流れ WWWで WWW何故 WWWまあ WWWいいや WWW
W行く WWW」

「ネメシスはゾンビを手に入れた」

ネメシスとは女神の名前だそつだ。（後書き）

ネメシスと打ち込む時、ほとんどタイプミスで”ネメイシス”にな
つちまう。」

あー・・・wwwって表現を使っちゃった・・・ざうせ黙文だから
！・・・

クレームだつてなんだつて来いよ！受けて見せようぞ！

あ、でもでも、感想とか指摘とかだったら嬉しいなー・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5420z/>

ネメシスとして幻想入り

2011年12月20日22時52分発行